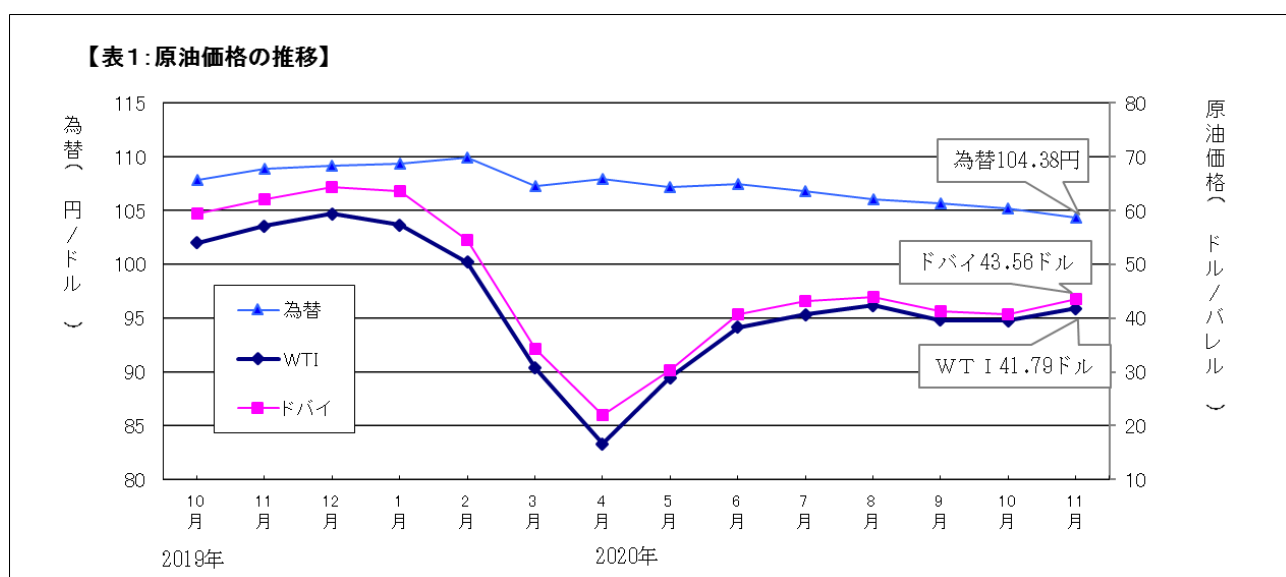


1. 石油情勢

- (1) 今年に入り、コロナ禍の影響による需要減少と産油国での協調減産の交渉が決裂したことにより、原油価格は4月には20ドルを下回る水準まで急落しました。
- (2) 5月以降、石油輸出国機構（OPEC）とロシアなど非加盟産油国で構成するOPECプラスによる史上最大規模での協調減産による供給引き締めや、経済活動再開による需要の回復もあり、原油価格は40ドル前後まで上昇しました。
- (3) 7月以降は、欧米で新型コロナウイルスの感染再拡大があるものの、ワクチン開発の進展やOPECプラスによる協調減産を継続する動きがあったことから、原油価格は40ドル台で推移しています。
- (4) 今後の原油価格の上昇・下落要因としては、①新型コロナウイルスの影響による需要増減、②米中関係の動向、③OPEC協調減産の実行動向等が考えられます。



<用語の解説>

- WTI…米国産原油で世界の原油市況の指標。●ドバイ…ドバイ産原油でアジアの原油価格の指標。
- バレル…原油や石油製品の国際的な計量単位。1バレルは約159リットル。

2. 家庭用灯油の配送予約を受付中！

J Aのガソリンスタンド・燃料センターでは、家庭用（暖房用・給湯器用）灯油の配送予約を受付けしております。

ご希望どおりに配達ができるように、早期のご注文やホームタンクの点検等、お早目の準備をお願いします。

詳しくはお近くのJ Aのガソリンスタンドや燃料センターまでお問い合わせください。



3. 知って得する！免税軽油

(1) 免税軽油のご紹介

軽油には1リットルあたり32.1円の軽油引取税(地方税)が含まれています。
この軽油引取税が一定の要件をもとに免除される軽油を免税軽油といいます。

(2) 免税軽油Q&A

Q1. 対象となる軽油は？

→A. 農作業において農業用機械に使用する軽油が対象です。

(耕うん整地用機械、栽培用機械、収穫調整用機械、植物繊維用機械、畜産用機械など)

※ 農業だけでなく、林業や漁業などで使用する軽油（法令に規定された特定の用途に使用するための軽油）も課税が免除されます。

Q2. どんな人が対象？

→A. ご自身で農業を営む方や農作業受託で基幹的な作業の全てを受託する方が対象です。

※ 例：稲作の場合

耕起、代かき、植付、刈取、脱穀等の作業で機械を使う作業の全ての委託を受けていること。（一部作業の委託の場合は対象となりません）

Q3. どんな手続きが必要？

→A. 免税軽油を使用するには、免税軽油使用者証・免税証の交付申請、免税軽油の引取に係る報告書を提出する必要があります。

詳しくは、お近くのJ Aガソリンスタンド・燃料センターまでお問い合わせください。



(石油事業部)